

令和8年度 くり防除情報

令和8年6月1日発行 石川県くり生産振興会

実炭疽病の発生に警戒しましょう！

- 近年実炭疽病が発生し、昨年多発した園では今年も多発する可能性があります。
- 5月の気温が平年より高い傾向が続き、炭疽病菌の活動が早まっていると見られています。
- このため、従来の防除体系（7月下旬、8月上旬）では被害を抑えることが困難なことが予想されます。
- 昨年多発の有無と関係なく、**下記の防除を実施してください。**

○ 防除適期 6月中旬 ※

対象病害虫	農薬名	希釈倍率	収穫前日数	使用回数
実炭疽病	ベルコートフロアブル	1,000倍	14日前まで	2回以内
	または ジマンダイセン水和剤	600倍	7日前まで	2回以内

※この時期はくりの開花期にあたり、この時期に防除すると被害を軽減できます。

枯れた弱小枝や被害を受けた穂、クリタマバチの被害跡が残っていると今年の感染の原因になります。剪定時にこれらを取り除くことや、樹勢を強く維持する肥培管理、夏季剪定等で、混んでいる枝を間引くことも併せて行うことで防除の効果を高めることができます。



被害果の例
(症状が進行したもの)

樹全体に十分かかるよう散布しましょう！

詳しくはJAのと、または奥能登農林総合事務所にご相談下さい。
モモゴマダラノメイガ(実炭疽病2回目)の防除は、次回の防除情報(7月上旬頃)にてお知らせします。